

令和4年度決算について

令和4年度における予算編成に当たっては、厳しい財政環境にあって予算の圧縮に努めることを基本とし、各種経費の見直しを図るなど財政健全化に努めながら、地域住民の安心・安全な生活と災害に強いまちづくりの実現に向け、下記の重点施策を考慮し、事業の必要性、効率性、緊急性等を総合的に勘案しながら、限られた財源を効果的・効率的に配分するよう予算編成したところで

- 【重点施策】
- ・ 消防体制の充実強化
 - ・ 救急業務高度化への対応及び救急需要への対策
 - ・ 火災予防体制の積極的推進
 - ・ 消防団の充実及び地域防災力の強化等への取組

(1) 予算及び補正の状況

当初予算総額の規模は、3,277,000千円でしたが、新型コロナウイルス感染症対策事業等の実施や整理補正を行った結果、最終歳入歳出予算総額は、3,084,308千円となり当初予算比6,2%減となりました。

補正予算については、新型コロナウイルス感染症対策として消防庁舎オンライン会議システムの整備や第50回全国消防救助技術大会出場経費の増額、消防自動車整備事業の車両納期延長に伴う債務負担行為による備品購入費の減額が主なものです。

(2) 決算及び収支

一般会計歳入歳出決算総額は次のとおりです。

歳入	3,069,290,417円
歳出	2,994,706,941円
歳入歳出差引	74,583,476円

これを前年度と比較すると、歳入では5.5%の増、歳出では5.3%の増となりました。

(3) 主な事業

令和4年度の主な事業といたしましては、高規格救急自動車や消防ポンプ自動車の整備、消火栓の新設及び日吉公共施設複合化整備事業（サイレン塔建設工事）など消防施設の充実強化を図ったところであり、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、ソフト・ハード両面にわたり感染防止対策を一層推進し、消防・救急活動に支障が生じることのないよう、感染防止資器材の充実強化を図ったところであり、

今後も、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更される中、複雑多様化する災害と住民ニーズを的確に把握し、感染防止対策の継続と、消防体制の維持に万全を期し、地域住民の安心・安全な生活と災害に強いまちづくりの実現に向け、消防行政を進めて参ります。

令和4年度北見地区消防組合決算

(単位:千円)

	最終予算	収入済額	予算比%	支出済額	執行率%
一般会計	3,084,308	3,069,290	99.51%	2,994,706	97.09%

令和4年度一般会計歳入予算構成比

(単位:千円、%)

区分	予算現額	収入済額	予算比	構成比
分担金及び負担金	2,844,900	2,844,900	100.0	92.7
使用料及び手数料	1,000	916	91.6	0.0
寄附金	10	0	0	0.0
繰越金	64,164	64,165	100.0	2.1
諸収入	21,334	21,809	102.2	0.7
消防組合債	152,900	137,500	89.9	4.5
計	3,084,308	3,069,290	99.5	100.0

令和4年度一般会計歳出予算構成比

(単位:千円、%)

区分	予算現額	支出済額	執行率	構成比
議会費	1,922	1,334	69.4	0.1
総務費	289,584	277,285	95.8	9.3
消防費	2,314,192	2,242,445	96.9	74.8
公債費	472,725	472,718	100.0	15.7
予備費	4,961	0	0.0	0.0
諸支出金	924	924	100.0	0.1
計	3,084,308	2,994,706	97.1	100.0